



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年2月16日

上場会社名 株式会社 フライトソリューションズ

上場取引所

東

コード番号 3753 URL <https://www.flight.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 片山 圭一郎

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 松本 隆男

配当支払開始予定日

TEL 03-3440-6100

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,694	27.0	335		353		356	
2025年3月期第3四半期	2,319		241		269		271	

	1株当たり四半期純利益 円 銭	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	29.55		
2025年3月期第3四半期	27.08		

(注)2025年3月期第3四半期より非連結での開示としているため、2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,599	388	24.1
2025年3月期	1,509	503	33.3

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 386百万円 2025年3月期 503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		0.00	
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				0.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	20.8	50		20		10		0.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
以外の会計方針の変更	：無
会計上の見積りの変更	：無
修正再表示	：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	13,187,100 株	2025年3月期	11,756,500 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,025 株	2025年3月期	1,004 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	12,050,953 株	2025年3月期3Q	9,679,096 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については「添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
なお、決算補足説明資料はTDnet上に同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 営業損失の計上について	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により国内景気は緩やかな回復傾向が継続する中で、米国の通商政策の影響により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は、事業会社向けのシステム開発・保守、並びに電子決済ソリューション「Incredist」シリーズやAndroid端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズの開発・販売等に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,694百万円（前年同期比27.0%減）、営業損失335百万円（前年同期は営業損失241百万円）、経常損失353百万円（前年同期は経常損失269百万円）、四半期純損失356百万円（前年同期は四半期純損失271百万円）となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
SIソリューション事業	698	917	△219	△23.9%
決済ソリューション事業	938	1,317	△378	△28.8%
ECソリューション事業	58	85	△26	△31.6%
売上高	1,694	2,319	△625	△27.0%
SIソリューション事業	47	111	△63	△56.9%
決済ソリューション事業	△123	△85	△37	—
ECソリューション事業	△23	△37	14	—
調整額	△237	△229	△8	—
営業損益	△335	△241	△94	—
経常損益	△353	△269	△84	—
四半期純損益	△356	△271	△84	—

セグメントの業績は次のとおりであります。

① SIソリューション事業

SIソリューション事業においては、事業会社の基幹システム開発・保守等を行いました。

当第3四半期累計期間は、前年同期に売上計上した大型システム開発の反動等により、減収減益となりました。

以上の結果、売上高は698百万円（前年同期比23.9%減）、営業利益は47百万円（前年同期比56.9%減）となりました。

② 決済ソリューション事業

決済ソリューション事業においては、電子決済ソリューション「Incredist」シリーズ、Android端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズ、及びマイナンバーカードを用いた本人確認（公的個人認証）ソリューション「myVerifist」の開発・販売、並びにフライツ決済センターの開発に注力いたしました。

当第3四半期累計期間は、前年同期に売上計上した大口案件の反動により減収となり、上記ソリューションの開発・提案活動に伴う経費等により、営業損失となりました。

以上の結果、売上高は938百万円（前年同期比28.8%減）、営業損失は123百万円（前年同期は営業損失85百万円）となりました。

③ ECソリューション事業

ECソリューション事業においては、B2B向けECサイト構築パッケージ「EC-Rider B2B II」の販売に注力いたしました。

当第3四半期累計期間は、「EC-Rider B2B II」の提案活動に注力したことにより営業損失となりました。

以上の結果、売上高は58百万円（前年同期比31.6%減）、営業損失は23百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期累計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ89百万円増加し、1,599百万円となりました。主な増減要因は、棚卸資産の増加（374百万円増）、現金及び預金の減少（264百万円減）、売掛金及び契約資産の減少（117百万円減）であります。

負債は、前事業年度末と比べ205百万円増加し、1,210百万円となりました。主な増減要因は、契約負債の増加（145百万円増）、買掛金の増加（125百万円増）、社債（一年内償還予定含む）の減少（84百万円減）であります。

純資産は、前事業年度末と比べ115百万円減少し、388百万円となりました。主な増減要因は、四半期純損失の発生（356百万円）、資本金及び資本剰余金の増加（238百万円増）であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年1月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（4）営業損失の計上について

前事業年度は、決済ソリューション事業において、新製品であるAndroid端末によるタッチ決済ソリューション「Tapion」シリーズ及び多機能モバイル決済端末「Incredist Premium III」の開発費用が発生したこと、並びに前事業年度に売上を計画していた「Incredist Premium III」の大口案件が当事業年度の納品予定になったこと等により、前々事業年度以上に営業損失が拡大することになりました。なお、前事業年度の営業損失298百万円の主な原因は新製品開発に係るソフトウェア等の減価償却費196百万円の計上によるもので、営業キャッシュ・フローのマイナスは75百万円となっております。

当第3四半期累計期間は、当初の予定通り、決済ソリューション事業において、各ソリューションの開発・提案活動に注力したため営業損失335百万円を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況となっておりますが、2026年2月13日に2億円の借入を行ったこと、及び2025年9月に発行した第10回新株予約権の行使による資金調達が見込まれること等により、現時点では資金繰り上の懸念はないと考えております。

なお、当事業年度においては、「Incredist Premium III」の大口案件（今後受注予定の案件を含む）が売上計上される予定であり、営業損失は解消される見通しであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,606	189,430
売掛金及び契約資産	287,879	169,997
棚卸資産	119,792	493,835
その他	51,579	110,169
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	911,857	962,432
固定資産		
有形固定資産	72,029	47,732
無形固定資産		
ソフトウェア	310,921	352,148
その他	126,035	149,456
無形固定資産合計	436,956	501,604
投資その他の資産	88,929	87,903
固定資産合計	597,915	637,240
資産合計	1,509,773	1,599,673
負債の部		
流動負債		
買掛金	147,050	272,925
短期借入金	150,000	209,500
1年内返済予定の長期借入金	78,700	56,300
1年内償還予定の社債	118,000	68,000
契約負債	6,915	152,335
その他	140,828	162,292
流動負債合計	641,496	921,354
固定負債		
長期借入金	192,592	151,867
社債	126,000	92,000
資産除去債務	21,077	21,077
関係会社事業損失引当金	24,700	24,700
固定負債合計	364,369	289,644
負債合計	1,005,866	1,210,999
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,433,784	1,552,894
資本剰余金	1,424,459	1,543,569
利益剰余金	△2,352,884	△2,708,948
自己株式	△1,452	△1,457
株主資本合計	503,906	386,057
新株予約権	-	2,616
純資産合計	503,906	388,674
負債純資産合計	1,509,773	1,599,673

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,319,824	1,694,628
売上原価	2,036,322	1,536,560
売上総利益	283,502	158,067
販売費及び一般管理費	525,041	494,029
営業損失(△)	△241,539	△335,961
営業外収益		
為替差益	-	435
助成金収入	2,434	2,437
その他	87	359
営業外収益合計	2,522	3,232
営業外費用		
支払利息	8,524	8,575
為替差損	8,453	-
株式交付費	7,830	9,017
その他	5,583	3,297
営業外費用合計	30,391	20,890
経常損失(△)	△269,408	△353,619
税引前四半期純損失(△)	△269,408	△353,619
法人税、住民税及び事業税	2,442	2,444
法人税等合計	2,442	2,444
四半期純損失(△)	△271,850	△356,063

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、新株予約権の権利行使により資本金が119,109千円、資本剰余金が119,109千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,552,894千円、資本剰余金が1,543,569千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	SIソリューション 事業	決済ソリューション 事業	ECソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	171,566	883,123	22,994	1,077,683	-	1,077,683
一定期間にわたり移転 される財	746,118	433,904	62,117	1,242,140	-	1,242,140
顧客との契約から生じ る収益	917,684	1,317,028	85,112	2,319,824	-	2,319,824
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	917,684	1,317,028	85,112	2,319,824	-	2,319,824
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	917,684	1,317,028	85,112	2,319,824	-	2,319,824
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	111,319	△85,821	△37,922	△12,424	△229,114	△241,539

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	SIソリューション 事業	決済ソリューション 事業	ECソリューション 事業			
売上高						
一時点で移転される財	197,736	433,266	9,479	640,482	-	640,482
一定期間にわたり移転 される財	500,647	504,761	48,736	1,054,145	-	1,054,145
顧客との契約から生じ る収益	698,383	938,028	58,216	1,694,628	-	1,694,628
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	698,383	938,028	58,216	1,694,628	-	1,694,628
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	698,383	938,028	58,216	1,694,628	-	1,694,628
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	47,968	△123,013	△23,315	△98,360	△237,601	△335,961

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	134,069千円	162,101千円